

内閣官房『令和元年度 地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例』認定事業※

「第4回静岡市新現役交流会」を開催しました

※金融機関等の地方創生に資する取組のうち、地方公共団体等と連携している事例や先駆性のある事例として令和2年5月に認定を受けました。

しずおか焼津信用金庫・静岡信用金庫・株式会社静岡銀行は、静岡市・焼津市と連携し地方創生への取組みとして、官金連携による「第4回静岡市新現役交流会」を開催しました。

本交流会は、経営課題の解決に専門的なサポートを必要とする中小企業者と、高度な知識や豊富な経験を持ち中小企業支援の意欲に溢れた新現役（企業OB）との人材マッチング事業です。交流会を通じて、中小企業者の振興、発展に寄与することを目的としています。

1. 開催日時

令和3年8月25日（水） 13:00～17:10

2. 主催

しずおか焼津信用金庫・静岡信用金庫・株式会社静岡銀行・静岡市
（共催：焼津市 後援：関東経済産業局 協力：一般社団法人新現役交流会サポート）

3. 開催形式

Zoomを活用し、参加企業（各企業の事務所等）と新現役（自宅）、および金融機関担当者（各金融機関の本支店）をオンラインで繋いで開催。

4. 参加者

企業…静岡市、焼津市の中小企業20社
新現役…関東経済産業局データベースに登録している新現役のうち68名

5. 交流会当日の様子

- ・1回の面談時間は20分で、1企業最大7名の新現役とZoomにて面談を実施しました。
- ・参加企業の経営課題は、経営戦略の立案、販路開拓、技術伝承、生産管理、新事業展開など多岐に渡り、新現役から各自が専門とする分野の助言をしていただきました。

【特徴的な面談内容】

I社（菓子製造業）は、コロナ禍により観光産業が打撃を受けたことで、主力事業としていた土産物用菓子の受注減少に見舞われた。そこで、既存事業を補完するために、菓ごもり需要の高まりを背景とした個人消費を取り込む必要があると考えた。

大手食品企業に永年勤めた新現役から、定番商品のブラッシュアップによるBtoC向け商品の開発、ECサイト活用による販売チャネルの拡充など様々な切り口での助言があった。

6. 今後の取組み

- ・全ての参加企業が、交流会後も新現役による支援の継続を希望しており、新現役との面談を続けていく予定です。
- ・第1回静岡市新現役交流会に参加した仏具用品卸売業者は、交流会以降も新現役に継続した支援を受け、現代風にアレンジした香炉を開発するなどの実績が出ています。今後とも、各金融機関では、新現役と連携した伴走型の支援を展開していきます。

以上

